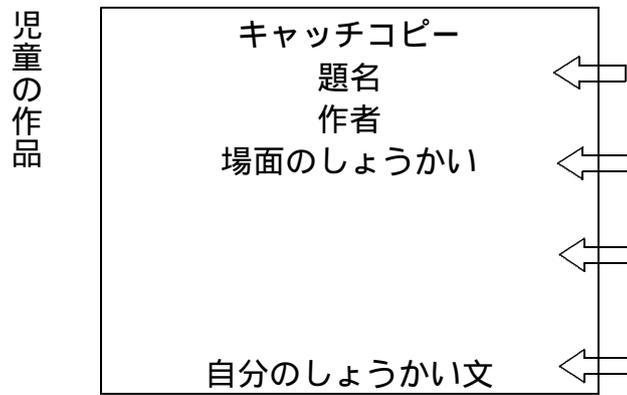


ポップでしようかいしよう

めあて

好きな本を読んで、ポップで紹介しよう。



児童の作品

手順

物語を読んで、題名と作者名を書く。

場面分けをして、場面のしょうかい文を書く。

作者の伝えたいことを短い言葉で書く。(キャッチコピー)

自分のしょうかい文

8 / 9 ・ 課外 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート…
活動のねらい

好きな物語を読ませ、「大造じいさんとガン」で学んだ事を生かして、ポップにまとめさせる。

1 学習の見通しをもつ。

ポップ作りの手順を確認する。

・ 紹介したい物語を選んで読む。(題名と作者名を書く。)

・ 場面分けをする。(四場面)

・ 場面の内容を書く。

・ 作者の伝えたいことを短い言葉で書く。

・ 自分の紹介文を書く。

2 好きな物語を選んで読む。
* 大造じいさんとガンの学習で作った児童のポップを掲示するといいでしよう。

* 主題や作者に関わる本につなげることも考えられますが、図書室にある本の状況と身に付けた力をいろいろな物語で使わせるために好きな物語を選んで読ませることにはしますが、学校や地域の実態に合わせて変えるのもいいと思います。

ここでの目的は読み広げと、教材文で学んだ物語文の読み方を使うことである。従って、児童に選ばせる本は高学年相当のものに限らず、児童が紹介したい本であれば、絵本でもよいことにする。

3 好きな物語を紹介するポップを作る。

* 児童の実態に応じて、本をすべて読み終わらなくても、場面の紹介などについては、随時、書かせていく。

* ポップの大きさは、図書室に置くことを考えて、八つ切り画用紙半分程度がよいでしょう。

評価 自分が紹介したい本を選び、意欲的にポップ作りに取り組んでいる。

4 できたポップを友達どうしで紹介し合い、単元を通した振り返りをする。